

(23)術後の大腿骨頸部/転子部骨折の発生率

分子：分母のうち、レセプト病名から推計された入院後発症疾患名に「大腿骨転子部骨折」あるいは「大腿骨頸部骨折」が記載され、入院中の2回目以降の手術が下記のいずれかを含む場合の患者数。

1. 大腿骨頸回転骨切り術、2. 大腿骨近位部（転子間を含む）骨切り術、3. 人工骨頭挿入術のいずれかが施行された患者数

分母：手術が施行された退院患者の術後在院日数の総計（術後在院患者延べ数）。ただし、レセプトにある病名のいずれかに以下の記載がある患者は除外

・けいれん、失神、脳卒中、昏睡、心停止、中毒、外傷、せん妄その他の精神科疾患、低酸素性脳症、リンパ腫、骨腫瘍、自傷行為による怪我

収集期間： DPC 以外病院：平成 28 年 4 月～平成 28 年 3 月

術後に、院内で転倒や転落によって骨折などが発生した場合、患者さんの療養生活の質は大きく低下し、また在院日数の延長や追加的な治療の結果、医療費も増大するなど種々の弊害が生じます。

手術を受けたこと自体が転倒・転落のリスクになりますが、加えて手術を受けた患者さんは痛みや不眠などの症状を和らげるために薬剤を投与されることがあり、さらにそのリスクが増大します。

病院では患者さんの転倒・転落事故を防ぐために、そのリスクを個別に評価し、その予防対策に努めていますが、その危険性を完全になくすことはできません。ただし、転倒・転落を起こしても骨折に至らないようにするために、その衝撃を吸収するヒッププロテクターや床材の採用など、各施設は種々の努力を行っています。

指標 23：術後の大腿骨頸部/転子部骨折の発生率

医療機関種別	医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
DPC以外病院	242705150	明和病院	17	0	0.0%
DPC以外病院	350311776	湯田温泉病院	63	0	0.0%
DPC以外病院	404419164	大牟田病院	6,196	0	0.0%
DPC以外病院	460110910	鹿児島病院	123	0	0.0%
		DPC以外病院 全体	6,399	0	0.0%

